

おおさか掲示板

子どもの教育・医療 無償化へ

市職員(消防吏員)

合格者は①平成30年4/1②平成29年10/1採用予定。受験資格などの詳細は、HPでご確認ください。
日第1次試験6/25(日) **申**5/9 9:00~5/19 12:00に原則としてHPで。

試験区分		採用予定者数
①	消防吏員A [大学卒程度]	(男)I 40名程度 (女)I 数名程度
		(男)II 35名程度 (女)II 数名程度
②	消防吏員B [大学卒以外]	(男)II 25名程度 (女)II 数名程度

問大阪市人事委員会
電6208-8545 **FAX**6231-4622

臨時的任用職員の事前登録者

対象は5/1現在、満18歳以上の方(大阪市の臨時的任用職員、地方公務員法第16条(欠格条項)に該当する方は登録不可)。育児休業者等の代替として、6/1~11/30の間で各区・局等で随時任用開始。募集職種は事務職。登録者全員が採用されるとは限りません。任期は任用開始日から6カ月以内(最長6カ月の延長あり)。
縮5/19 **申**問HPからダウンロードした申込書に必要事項を書いて**印**人事室人事課へ。
電6208-7512 **FAX**6202-7070

大阪マラソン公式イベント ~大阪マラソン10K&Fun RUN~参加者

初心者も参加可能な大阪マラソンのミニチュア版であるファンランと10kmランを開催。参加資格、参加料など詳しくはHPをご覧ください。定員10K(1500名)、ファンラン(500名)
日6/11(日)8:00~13:00
場ヤンマースタジアム長居
申5/25 17:00までにHPで。
問大阪マラソンコールセンター
電6445-3978 **FAX**6445-0004

キッズプラザ大阪 キッズレポーター

キッズプラザ大阪のイベントなどに参加して、レポートを書き、発表する「キッズレポーター」。対象は小学3~6年生。

活動期間:7月~来年3月(月1回程度)
縮5/31 **申**問原稿用紙に住所・氏名・生年月日・性別・学校名・学年・電話番号・キッズレポーター募集を何で知ったか・自己PR(特技・どんなことをしてみたかなど)を自筆で、〒530-0025 北区扇町2-1-7 キッズプラザ大阪「キッズレポーター」係へ。
電6311-6601 **FAX**6311-6605

学校元気アップ地域本部事業、学校支援ボランティア

中学校で放課後や土曜日、夏休み等に生徒の自主学習活動等を支援していただける方。対象は満18歳以上で中学生への支援に意欲と関心がある方。1回あたり1~3時間。**申**問電話またはファックス・**印**で、住所・氏名・電話番号・活動を希望する区域・曜日・時間帯・活動希望内容を書いて、教育委員会教育活動支援担当へ。
電6208-9171 **FAX**6202-7055

「大阪市男女共同参画審議会」の公募委員

男女が互いの人権を尊重しつつ個性と能力を十分に発揮できる社会の実現をめざす取り組みを審議する公募委員。対象は市内在住・在勤・在学中、市の附属機関の委員、市職員ではない方。定員2人。任期は8月から2年。
縮5/31 **申**問「男女共同参画社会の実現について、あなたが考えること」をテーマにした作文(800字程度)と、別紙に住所(市外の方は勤務先・通学先)・氏名・年齢・性別・電話番号・これまでの取り組み(NPO、ボランティア活動、研究テーマなど)を書いて、**印**市民局男女共同参画課へ。
電6208-9156 **FAX**6202-7073

催し

特別展「木×仏像 飛鳥仏から円空へ 日本の木彫仏1000年」

飛鳥時代から江戸時代の円空まで、約60件の木彫仏像を展示し、日本における木と仏像の関係とその歴史を総覧します。費用1300円ほか。
日6/4(日)まで9:30~17:00(入館は

16:30まで)月曜休館(5/1は開館)
場市立美術館
問大阪市総合コールセンター
電4301-7285 **FAX**6373-3302

特別展「ハンガリーの名窯 ヘレンド」



色絵金彩「ゲデレー」文ティーセット 1875年頃
 ブダペスト国立工芸美術館蔵

手作業による繊細な絵付け技術と東洋磁器に学んだ独自の様式を生み出したヘレンド窯。その190年の歴史と魅力を、ブダペスト国立工芸美術館などが所蔵する約230点の作品により紹介。費用1200円ほか。
日7/30(日)まで9:30~17:00(入館は16:30まで)月曜休館(休日の場合は翌平日、5/1は開館)
場問東洋陶磁美術館
電6223-0055 **FAX**6223-0057

特別展「大坂蔵屋敷 天下の台所はここから始まる」

一浪華の豪商が支えた大名家の金蔵
 江戸時代、大坂に経済発展をもたらした居住形態のひとつ「蔵屋敷」を取り上げ、建物の特徴と変遷などから蔵屋敷の実像に迫ります。費用300円ほか。
日5/28(日)まで10:00~17:00(入館は16:30まで)火曜休館
場問大阪くらしの今昔館
電6242-1170 **FAX**6354-8601

2017春のローズツアー

バラの名所として親しまれている市内のバラ園で、開花に合わせたローズツアーや講習会を開催。
 ①**場**問花博記念公園鶴見緑地バラ園:5/11(木)、12(金)10:30、13:30~(1日2回)
問鶴見緑地パークセンター
電6911-8787 **FAX**6911-8714
 ②**場**問靉公園バラ園:5/12(金)、13(土)、10:30、14:00~(1日2回)

問大阪城公園事務所
電6941-1144 **FAX**6943-6877
 ③**場**問中之島公園バラ園:5/16(火)、17(水)、10:30、14:00~(1日2回)
問扇町公園事務所
電6312-8121 **FAX**6312-3403

城北菖蒲園

江戸系・伊勢系・肥後系の三系統の「花菖蒲」、約250種約1万3000株を栽培している城北菖蒲園を今年も開園。見ごろは6月初旬ごろ。費用大人200円。
日5/19(金)~6/14(水)9:30~17:00(6/3(土)・4(日)・10(土)・11(日)は8:00~18:00)※入園は閉園30分前まで
場城北公園内
問鶴見緑地公園事務所
電6912-0650 **FAX**6913-6804

下水道科学館フェスタ

下水道クイズラリーや水の科学実験など、下水道を楽しく学べるイベント。
日6/3(土)・4(日)9:30~16:30
場問下水道科学館
電6466-3170 **FAX**6466-3165

講座・教室

音訳・点訳ボランティア養成講習会

録音・点字資料の製作にご協力いただける方を対象に、①音訳②点訳ボランティアを養成するための講習会。定員各20人。〈午前の部〉毎週①木曜②水曜、10:00~12:00〈夜の部〉毎週①水曜②金曜、18:30~20:30。①は全26回②は全19回。
場早川福祉会館 **縮**5/31
申問5/24(水)10:00~11:00、18:30~19:30、5/25(木)10:00~11:00、5/26(金)18:30~19:30の事前説明会で配布する応募資料に必要事項を書いて、早川福祉会館点字図書室へ。
電6622-0123 **FAX**6622-0020

第57回 弘済院附属病院 市民公開講座

「高齢者と認知症と自動車の運転」をテーマに講演会を開催。定員90人(先着順)。
日5/31(水)14:00~15:00
場弘済院寿楽館 **縮**5/26
申問電話またはハガキ・ファックス・**印**・

持参で、「公開講座参加希望」と明記し、参加人数・代表者の住所・氏名・電話番号を書いて、〒565-0874 吹田市古江台6-2-1、弘済院附属病院へ。
電6871-8013 **FAX**4863-5351

第213回市民医学講座 「ストレスへの気づきとセルフケア」

人は、あらゆるストレスにさらされています。そのストレスについて、精神科医の視点からお話しします。定員150人(先着順)。
日6/22(木)18:10~19:30
場あべのメディックス **縮**5/29
申問HPまたは往復ハガキで、「第213回」と明記し、住所・氏名・年齢・電話番号を書いて、〒545-0051 阿倍野区旭町1-2-7あべのメディックス6階、市民医学講座お問い合わせ窓口へ。
電6645-3405 **FAX**6645-2765

児童虐待の通告・相談は、24時間365日対応の「児童虐待ホットライン」0120-01-7285(まずは一報にわっ子)にお電話ください。

複合的な福祉課題等を抱える方を支援します

複雑化・多様化・深刻化する福祉課題等の解決に向けて、相談支援機関・地域・行政が一体となり、「複合的な課題を抱えた方」を支援するしくみとして、「総合的な相談支援体制の充実」事業を今年度からモデル3区(福島区・東淀川区・平野区)において実施します。今後、効果や手法の検証を行い、取り組みを展開します。

問福祉局地域福祉課
電6208-7970 **FAX**6202-0990

現状

高齢者は「地域包括支援センター」、障がい者は「障がい者相談支援センター」など、置かれている状況で支援機関が異なるため、複合的な課題を抱えた方や世帯への支援が困難です。
 例:認知症の親と障がいのある子どもの世帯など

モデル事業

支援が複数の分野にまたがる場合、世帯全体を支援できるよう、身近な相談支援機関が状況等を正確に把握し、他の機関と連携して支援します。

他の相談支援機関との連携が困難な場合

区保健福祉センターが中心となって、関係機関と支援方針を話し合い、世帯全体の課題の解決を図ります。